

第15回 夢アイデアまちづくりに関する提案

2、継承者を育てるまちづくり

少子高齢化にともない農業においても後継者不足にはどの地域におかれましても悩みの種です。また、日本の伝統芸能、歴史的町並み保全におかれましても宮大工などの技術職人不足による後継者不足に悩んでいます。茅葺き職人、神社仏閣等の職人不足などによる事から考えました。これらは、各自治体からの補助金で生涯確保してはどうか？

第15回 夢アイデア まちづくりに関する提案

～タイトル「 ②継承者を育てるまちづくり 」～

(主旨)

*例えば、農業におかれましては超高齢化で後継ぎがないのが現状です。報道等によりますと、2015年度には約140万戸の農家数が、わずか10年後の2025年には半分ほどの72万戸になると聞いています。

*各、市町村におかれましては継承できない後継者を把握していただいて新しいものづくりに挑戦してほしいのです。それは、地域の活性化、人口増にもつながるのです。

*各、市町村におかれましては、各自治体にあった伝統芸能、能、狂言、邦楽、技、宮大工、伝統的建築物、ものづくり、文化財保護法に基づき後継者選別に配慮してもらいたいのです。

～対処法～

- 1、 今の子供たちは、ゲーム、携帯など慣れたものです。もう既に農業もデジタル時代に突入しております。例えば、田、畑にスマートホン、タブレット端末を持参し、作業した内容や時間をその場で入力する農家は珍しくありません。今の若い農業青年は、すぐに数値化、見える化にすることで活用しています。また、全国各地にある農産物直売所ではPOSシステムの導入が進んでいます。何がどれだけ売れたかという情報は農家一軒ごとに決まった時間に届けられ、売り切れたという情報を受け取れば、農家は直ぐに畑で収穫しその日のうちに直売所、道の駅などに持って行くことができます。
- 2、 次に、文化遺産をはじめ、まさに伝統産業の京都府ではますます重要性が大事になってきております。農業では、お茶の生産が知られていますし、特に伝統工芸が非常に盛んです。ここには毎日のように外国人観光客が訪れています。名産品をあげると、宇治茶、西陣織、京友禅、丹後縮緬、清水焼などは有名です。例えば、故郷での夏祭りと言えれば必ず山車巡行はつきものです。これらはまさに伝統的な地域の民族的な行事として長く続けられてきたものです。しかし、ここ最近では、少子高齢化と過疎化が進んで祭りに参加する山車の数が年々減少しているのです。これは本当に寂しいことです。ですから今後、伝統文化の継承と若い人達に継いでいってほしいのです。これが本当の地方創生につながると思います。